

オナガアゲハ

Papilio macilentus

兵庫県：要注目

環境省：－

種の概要

前翅長55～75mm程度。翅の表面、裏面は黒色で、後翅の外縁には弦月状の赤班列がある。

山地の溪流沿いや林道周辺、林縁部などに生息し、幼虫はコクサギを主要な食草とし、成虫は4月下旬～9月にかけて年2回出現する。



写真提供：清水哲也

国内分布

北海道、本州、四国、九州、佐度、隠岐

県内分布記録

神戸市、芦屋市、宝塚市、川西市、猪名川町、猪名川町、明石市、加古川市、三木市、多可町、福崎町、市川町、姫路市、神河町、宍粟市、佐用町、相生市、赤穂市、上郡町、豊岡市、香美町、新温泉町、朝来市、養父市、丹波篠山市、丹波市

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○				

特記事項

新規追加種

近年シカの食害の影響を大きくうけた種。オナガアゲハの食草であるコクサギが低木のため、山地溪流沿いに広く分布していたコクサギがシカの食害の影響を受けて、生息域、個体数が急激に減少した。

保護上の留意点